

事業番号	09 03 02	事業改善シート（令和3年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	環境にやさしい農業推進事業	部局	農政部	課・室	農業技術課			
		実施期間	H16 ~	E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp			
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)								
8つの重点目標								
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進				4-5 地球環境への貢献			

1 現状と課題

目指す姿 ・ これまでの取組	【目指す姿】 GAPの取組を基礎に、食品の安全確保や環境保全の取組が盛んに行われ、環境と調和した農業が広く行われる。 ・地球温暖化防止に貢献する技術の導入や農業生産活動が広がる。	
	【これまでの取組】 ・国際水準GAPの実践に向けGAP指導員を育成し、GAP認証取得を支援。 ・農薬適正使用研修会を開催するとともに、農薬安全使用のリーダーとなる農薬管理指導士を認定。 ・有機農業プラットフォームを設立し、生産者・実需者・消費者・行政の情報交換を行うとともに、勉強会や研修会を開催。	
令和2年度 点検結果 (令和元年度 実施事業分) ・ 現状分析	課 題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> GAP・環境農業の取組は拡大しているが、面的・組織的な広がりには至っていない。 有機農業が拡大する機運が高まっているが、自主的な活動をより促進する必要がある。 2050年にゼロカーボン達成するため、農業分野での温室効果ガスの削減等の取組が必要である。 新たな病害虫や防除が困難な病害虫が発生しており、的確な防除のために発生予察と防除対策が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> GAP指導員による指導活動を強化するとともに、認証取得に向けた組織的な取組を支援する 有機農業推進プラットフォームの研修会を充実するとともに、会員相互の自主的な活動促進を図る。 地球温暖化対策・削減技術を開発するとともに、環境にやさしい農業の面的拡大と炭素貯留技術の実証。 侵入警戒調査や発生予察により、生産者への的確な情報発信と防除対策の実施

2 令和3年度事業内容

補正予算のポイント・主な取組(予定)	【自然循環型農業定着促進事業】	
	<ul style="list-style-type: none"> ○目的 有機農業をはじめ、環境保全型農業の産地化、面的な拡大を図るため、市町村や産地が主導する取組を支援する ○事業内容 (1) グリーン栽培体系転換サポート事業 ・化学農薬や化学肥料の使用量削減等、環境にやさしい栽培技術（グリーン栽培体系）の実証やマニュアル作成を支援 ・補助対象者：産地における関係者協議会 ・補助率：定額 (2) 有機農業産地づくり推進事業 ・有機農産物の販路開拓、学校給食への利用等、市町村が主導して有機農業の生産から消費まで一貫した地域ぐるみの取組を支援 ・補助対象者：市町村 ・補助率：機械リース 1/2以内、その他 定額 	

指標の状況及び目標値【↑:改善、↓:悪化、→:変化なし】						区分(単位:千円)						
No	成果指標	H30年度	R1年度		R2年度末		R3年度目標値		R1年度	R2年度	R3年度	
1	国際水準GAPの取得件数	28	45	↑	44	↓	50				67,582	
2	化学肥料・化学合成農薬を5割以上削減し、環境保全に資する技術に取り組む面積(ha)	602	571	↓	621	↑	650		122,167	109,142	127,146	
3											18,000	
4											212,728	
5											20,242	
									合計(A)	83,610	109,142	212,728
									うち一般財源	20,753	23,433	20,242
									決算額(B)	75,962	109,925	
									職員数(人)	18.5	18.5	18.5
成果指標 設定理由	①国際水準GAP取得者数から、GAP普及状況が評価できるため。 ※目標値:前年度の増加率と新型コロナウイルスの影響を勘案して設定 ②化学農薬・化学合成農薬を半分に削減して環境保全に資する技術を実践する「環境保全型農業直接支払事業」取組面積から、「環境農業」の普及状況が評価できるため ※目標値:過去5年間の面積伸び率から設定											

事業番号	09 03 02	事業改善シート（令和3年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	環境にやさしい農業推進事業		部局	農政部	課・室	農業技術課	

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 最終予算		R 2 年度 最終予算		R 3 年度 予 算	
		計	千円	計	千円	計	千円
1	G A P ・ 環境農業総合対策事業					当初予算	11,069
						補正予算	18,000
		計	13,809	計	12,016	計	29,069
			千円		千円		千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	G A P の推進	直接	<ul style="list-style-type: none"> G A P アカデミー、G A P フォーラムの開催 国際認証G A P 認証取得支援 G A P 指導員の育成
2	環境農業の推進	直接	<ul style="list-style-type: none"> 信州の環境にやさしい農産物認証制度の運用 環境にやさしい農業実証事業の実施 グリーン栽培体系転換サポート事業
3	有機農業プラットフォームの推進	直接	<ul style="list-style-type: none"> オーガニック・アカデミーの開催 プラットフォーム先進活動支援事業 有機J A S 制度の推進 有機農業の産地づくり推進事業
4	自然循環型農業定着促進事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> 水田からの温室効果ガス発生抑制技術の開発 もみがら暗きょによる炭素貯留の実証

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 最終予算		R 2 年度 最終予算		R 3 年度 予 算	
		計	千円	計	千円	計	千円
2	環境保全型農業直接支払事業					当初予算	35,406
						補正予算	
		計	29,653	計	35,185	計	35,406
			千円		千円		千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	環境保全型農業直接支払事業	交付金	化学肥料、化学合成農薬の使用を50%以上削減した上で、地球温暖化防止、生物多様性保全の取組に対する交付金
2			
3			

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 最終予算		R 2 年度 最終予算		R 3 年度 予 算	
		計	千円	計	千円	計	千円
3	植物防疫事業					当初予算	78,900
						補正予算	
		計	38,083	計	56,483	計	78,900
			千円		千円		千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	発生予察事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> 病虫害発生予察ほ場の設置及び調査 日本植物防疫協会が提供する農業登録情報等の検索システムへの加入
2	病虫害防除所運営費	直接	病虫害防除所の設置及び業務の運営
3	重要病虫害まん延防止対策事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ミバエ等の侵入警戒調査 テンサイシストセンチュウ防除の実施 薬剤耐性リンゴ黒星病の発生状況調査及び防除対策

事業名	環境にやさしい農業推進事業	部局	農政部	課・室	農業技術課
-----	---------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R 1年度 最終予算	R 2年度 最終予算	R 3年度 予 算
4	農薬安全使用対策事業			
		計	計	計
		2,065	1,970	1,771
		千円	千円	千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	農薬安全使用対策事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・農薬の適正使用の推進 ・マイナー品目の農薬登録拡大 ・環境モニタリング調査の実施